

クラウド事業の中核を担う人材の総合的なクラウドスキル強化と早期育成にCompTIA認定資格を活用

CompTIA Cloud+をクラウドアーキテクトのスキルパスに導入

NEC
NECソリューションイノベータ

NECソリューションイノベータ株式会社

東京都江東区新木場一丁目
18番7号
<https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/>

「クラウド事業の中核を担うレベル2人材のスキル定義を厳しい条件に見直し、CompTIA認定資格を活用することで、総合的なクラウドスキル強化を図ります。」

クラウドNWSL事業部
クラウドSLグループ
統括マネージャー
小坂 稔 様

導入のCompTIA認定資格

- CompTIA Cloud+

CompTIA日本支局

東京都千代田区神田三崎町
3-4-9 水道橋MSビル7F
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

取得対象者

クラウドNWソリューション事業部

取り組みの背景

NECグループは、ICT(情報通信技術)を活用して社会インフラを高度化する「社会ソリューション事業」に注力しています。

当社の事業展開に必要なクラウドアーキテクト要員を早期に増やすためには、より体系化された(高い網羅度で)スキルセットを早期に身に付ける必要があります。また、クラウド関連に必要なスキルセットの内容は日々進化しているため、常に最新の内容でレベル定義と認定ができる仕組み作りと、効果的な要員育成を進める必要があります。

具体的には、クラウドアーキテクトには、最適なプライベートクラウド基盤構築や、お客様に合わせたパブリッククラウドの最適活用のためにも、クラウドの技術要素や実装における課題、ベストプラクティスを理解できる技術知識や、業務における知識、スキルが求められます。今後戦略的にクラウドアーキテクトを増やしていく上で、各サービスのエキスパートが属人的に業務を請け負うのではなく、上記を理解する人材プラットフォームを構築する必要がありました。



CompTIA Cloud+ は、クラウドの運用やサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するITエンジニアが必要とされるスキルとベストプラクティスへの理解を評価する認定資格です。2~3年のITネットワーク、ストレージ、データセンターなどでの業務経験を持つエンジニアを対象とし設計されています。

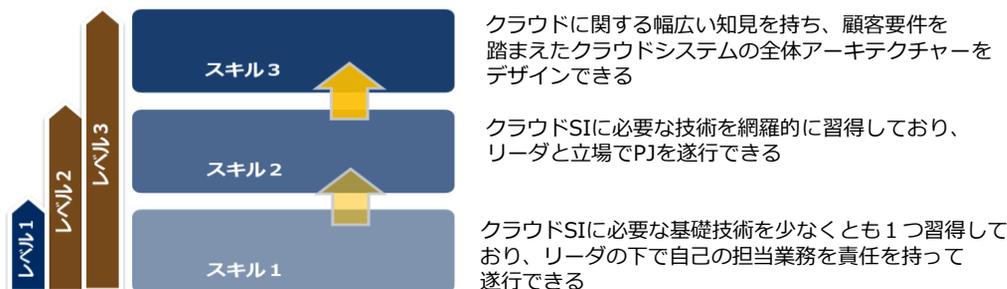
取り組み

レベル2人材のスキル定義を厳しい条件に見直し、ベンダ非依存のグローバル資格 (CompTIA認定) を活用することで、総合的なクラウドスキル強化を図る。

レベル3 : クラウドアーキテクトスキル保有

レベル2 : クラウドSIスペシャリストスキル保有

レベル1 : クラウドSI基礎スキル保有



※2018年度は上記にて進め、次年度以降は更なるレベルアップのため、ベンダ資格取得を条件に加えるなど、個々の目標の明確化を図ることを検討

→ レベル1 : CompTIA (Cloud Essentials) の適用

→ レベル2 : CompTIA (Cloud+) をレベル2に入口として位置づけ、ベンダー固有資格をレベル到達条件に加えることも検討

CompTIA®